

ヘーゲル日本語文献目録
(2016年～2017年)

日本ヘーゲル学会文献資料委員会
松岡健一郎・山脇雅夫 編

凡例

- 1 この文献目録は、2016年1月から2017年12月までに日本で公表された、ヘーゲルに関する文献を可能な限り網羅的に収集しており、日本ヘーゲル学会文献資料委員会・松岡健一郎・早瀬明編「ヘーゲル日本語文献目録（2014年～2015年）」の続編である。
- 2 文献の配列は次のようになっている。Ⅰヘーゲル自身の著作の日本語訳、Ⅱヘーゲルに関する研究文献、Ⅲヘーゲルに関する研究文献の書評、Ⅳヘーゲル研究の動向紹介、Ⅴヘーゲルに関する文献目録、Ⅵヘーゲルに関する研究資料。さらにⅢに関しては、A 研究書、B 雑誌・紀要および論文集掲載論文、C 外国語研究論文の日本語訳の順で三つに区分してある。但し、複数名の共同執筆者による論文集等は、AとBの両方に重複して記載される。
- 3 上記の各分野における文献は、まず刊行年ごとに区分したうえで、著者名の五十音順で配置してある。
- 4 各文献のデータ項目は、単行本に関しては、著者名(または訳者名)、題名、出版元の名称、刊行年の順で記載しており、雑誌・紀要等掲載論文に関しては、筆者名、論文の題名、掲載雑誌の名称、巻数・号数、刊行年、掲載頁の順で記載してある。巻数・号数に関して、例えば15巻4号であれば 15(4)と表記した。
- 5 ヘーゲルに関するものであっても、随筆類、また事典の項目や哲学史関連の著作に含まれる章節、学会発表要旨・レジュメ、新聞記事等は正確な情報収集が困難なため掲載を割愛したことがある。

Ⅰヘーゲル自身の著作の日本語訳

〈2016年〉

G.W.F.ヘーゲル	哲学史講義 1(長谷川宏 訳)	河出書房新社	2016		
G.W.F.ヘーゲル	哲学史講義 2(長谷川宏 訳)	河出書房新社	2016		
G.W.F.ヘーゲル	哲学史講義 3(長谷川宏 訳)	河出書房新社	2016		
G.W.F.ヘーゲル	哲学史講義 4(長谷川宏 訳)	河出書房新社	2016		
G.W.F.ヘーゲル	G・W・F・ヘーゲル「精神の哲学」についての講義(ベルリン、一八二二年夏学期)(栗原 隆 訳)	知のトポス = Topos : 世界の視点	11		pp.59~115.
G.W.F.ヘーゲル	『ハイデルベルク・エンツェクロペディー』の「主観的な精神」(ハイデルベルク、一八一七年)(高畑 菜子 訳,栗原 隆 訳)	知のトポス = Topos : 世界の視点	11		pp.1~58.

G.W.F.ヘーゲル	ドイツ国制論一草稿断片：訳と註(4)(早瀬 明訳)	研究論叢(京都外国語大学国際言語平和研究所編)	87	2016 pp.159~183.
G.W.F.ヘーゲル	ドイツ国制論一草稿断片：訳と註(5)(早瀬 明訳)	研究論叢(京都外国語大学機関誌編集委員会, 京都外国語短期大学機関誌編集委員会編)	88	pp.221-241.
G.W.F.ヘーゲル	翻訳 ヘーゲル『精神現象学』饒舌訳の試み(2)(原崎道彦訳)	高知大学教育学部研究報告(高知大学教育学部編)	76	pp.5-21.
(2017年)				
G.W.F.ヘーゲル	美学講義(石川伊織, 小川真人, 瀧本有香訳)	法政大学出版局		
G.W.F.ヘーゲル	G・W・F・ヘーゲル「精神の哲学」についての講義(ベルリン、一八二五年夏学期)(栗原 隆, 高畑 菜子, 宮川 真美訳)	知のトポス = Topos : 世界の視点(新潟大学大学院現代社会文化研究科「世界の視点をめぐる思想史的研究」プロジェクト編)、	12、	2017、pp.1~41.
G.W.F.ヘーゲル	翻訳 ヘーゲル『精神現象学』饒舌訳の試み(3)(原崎道彦訳)	高知大学教育学部研究報告(高知大学教育学部編)、	77	2017、pp.148~123.
G.W.F.ヘーゲル	ヘーゲル著『ドイツ国制論』草稿断片 訳と註：ドイツ国制の本質と国家の概念(早瀬明訳)	研究論叢(京都外国語大学国際言語平和研究所編)、	90、	2017、pp.197~214.
G.W.F.ヘーゲル	ヘーゲル・セレクション(廣松渉, 加藤尚武編訳)		平凡社	
G.W.F.ヘーゲル	ハイデルベルク論理学講義：『エンチクロペディー』「論理学」初版とその講義録(藤田俊治, 小坂田英之, 金澤秀嗣訳)	ミネルヴァ書房、		
G.W.F.ヘーゲル	ヘーゲル初期論文集成：全新訳(村岡晋一, 吉田達訳)	作品社		

II ヘーゲルに関する研究文献

A 研究書

〈2016年〉

海老澤善一	ヘーゲル論理学と弁証法	梓出版社	2016
神山伸弘	ヘーゲル国家学	法政大学出版局	2016
佐藤康邦	教養のヘーゲル『法の哲学』 ：国家を哲学するとは何か	三元社	2016
高山守	ヘーゲルを読む：自由に生きるために	左右社（放送大学叢書；035）	2016
滝口清榮	ヘーゲル哲学入門	社会評論社	2016
竹田青嗣	哲学は資本主義を変えられるか：ヘーゲル哲学再考	KADOKAWA	2016
堀井野生夫	人間共生の思想：ヘーゲル哲学を初めとする西欧の思潮の大きな謬り	文芸社	2016
牧野広義	ヘーゲル哲学を語る	文理閣	2016
牧野広義	ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由	ミネルヴァ書房（阪南大学叢書）	2016
山口誠一	ヘーゲル哲学の根源：『精神現象学』の問いの解明	法政大学出版局	2016
寄川条路 編	ヘーゲル講義録入門	法政大学出版局	2016

〈2017年〉

堅田剛	法の哲学：ヘーゲルとその時代	御茶の水書房	
加藤尚武	ヘーゲル哲学のなりたち（加藤尚武著作集第1巻）	未来社、	（加藤尚武著作集第1巻）
小林道憲	ヘーゲル哲学を研究する：付・断片集、句歌集、評論	ミネルヴァ書房	
南郷 継正	哲学・論理学原論「新世紀編」：ヘーゲル哲学学形成の認識論的論理学	現代社	
寄川条路編著	ヘーゲルと現代思想	晃洋書房	

B 雑誌・紀要および論文集掲載論文

〈2016年〉

伊坂 青司	ヘーゲル講義録と「世界史の哲学」初回講義	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編集委員会編）	22	2016 pp.5-9.
-------	----------------------	--------------------------	----	--------------

石川 伊織	ヘーゲルの『美学講義 (1820/21)』における人相学と頭蓋論をめぐる諸問題	JISRD : journal of international studies and regional development (国際地域研究学会編)	7	2016 pp.1-12.
榎本 庸男	「歴史から学ぶ」ということ：ヘーゲルの歴史哲学を中心として	人文論究(関西学院大学人文学会編)	66(1)	2016 pp.37-50.
大河内 泰樹	認識批判と経験科学：ヘーゲル『大論理学』、概念論、「認識の理念」章の読解を通じて(特集 ヘーゲル大論理学：概念論刊行200年)	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.254-272.
大田 孝太郎	ヘーゲルのLeben概念について	広島経済大学研究論集(広島経済大学経済学会編)	39(1,2)	2016 pp.5-24.
大坪 哲也	デンマーク矛盾論争におけるF・C・シバーンのヘーゲル批判	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.177-191.
大橋 基	ヘーゲルの政治哲学における公共圏の重層構造	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.163-176.
大藪 敏宏	福祉の体系における「欲望」のフーコー的様相とポランティアの偶然性：ヘーゲル法哲学における「欲求の体系」の偶然性と文化経済学の考古学	富山国際大学子ども育成学部紀要(富山国際大学編)	7	2016 pp.45~58.
岡崎 秀二郎	ヘーゲル反省論における循環と自己運動の連関	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.192-204.
尾崎 誠	ヘーゲルと法華思想	法華仏教研究(法華仏教研究会編)	23	2016 pp.243-263.
加藤 尚武	哲学史とは何か(日本ヘーゲル学会十周年記念講演)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.26-38.
加藤 尚武	「弁証法」の21用語例in『精神現象学』	ヘーゲル論理学研究(ヘーゲル論理学研究会編)	22	2016 pp.7-22.
加藤 尚武	ヘーゲル研究者は、200年間、何をしてきたか(特集 ヘーゲル大論理学：概念論刊行200年)	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.60-77.

神山 伸弘	戦争は哲学に必要な契機である(シンポジウムヘーゲルにおける戦争と平和)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.129-141.
神山 伸弘	ヘーゲルがオランダで観た絵:1820年代初頭現マウリッツハイス美術館所蔵のオランダ絵画の一端	跡見学園女子大学人文学フォーラム	14	2016 pp.150-136(A41~A55).
神山 伸弘	学問的認識論としての『精神の現象学』「序文」- (その二)第十三段落~第十九段落	跡見学園女子大学文学部紀要(跡見学園女子大学編)	50	2015 pp.19-55.
川崎 誠	ソシュールは、ヘーゲルを読んだマルクスを読んだ! : 「論理的構文論」の立場から	専修人文論集(専修大学学会)	99	2016 pp.413-450.
川瀬 和也	ヘーゲル・ルネサンス: 現代英語圏におけるヘーゲル解釈の展開(特集ヘーゲル大論理学: 概念論刊行200年)	情況. 第四期: 変革のための総合誌	3	2016 pp.178-196.
川瀬 和也	現代行為論とヘーゲル: 「事前の意図」は出来事か	宮崎公立大学人文学部紀要(宮崎公立大学図書館運営部会編)	24(1)	2016 pp.1-15.
北澤 恒人	ヘーゲル『論理学』有論における有限性の論理	環境創造(大東文化大学環境創造学会編)	21	2016 pp.41-62.
久保 陽一	ヘーゲルにおける宗教的和解の問題(シンポジウムヘーゲル哲学における宗教哲学の本質と現代の人間)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.63-74.
久保 陽一	ヘーゲル論理学における「絶対的理念」の生成(特集ヘーゲル大論理学: 概念論刊行200年)	情況. 第四期: 変革のための総合誌	3	2016 pp.97-116.
栗原 隆	ヘーゲル『精神哲学』の基底と前哨	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.146-162.
黒崎 剛	現代社会を理解するための『大論理学』注釈(3)第一部・『第一書 存在』(その1)注釈1と第一章「学は何を始元としなければならないか」および「存在-無-成」への注釈	ヘーゲル論理学研究(ヘーゲル論理学研究会編)	22	2016 pp.73-125.
黒崎 剛	「学の始元」としての「思考と存在との同一性」: ヘーゲル論理学の始元論の手続き問題と意味(特集ヘーゲル大論理学: 概念論刊行200年)	情況. 第四期: 変革のための総合誌	3	2016 pp.145-160.

小井沼 広嗣	ヘーゲルにおける意志論と衝動の陶冶：フィヒテとの対決を視軸として	倫理学年報	65	2016 pp.131-145.
小林 亜津子	ヘーゲル「宗教哲学」講義一八二一年草稿における神と人間：啓示をめぐるヘーゲルとルター（シンポジウム）	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.75-85.
小林 正士	ヘーゲルとランケ：国家における自由と義務	国士舘大学大学院法学研究科・総合知的財産法学研究科 国士舘法研論集(国士舘大学法学会編)	17	2016 pp.1~24.
権左 武志	ヘーゲルにおける革命・戦争・主権国家（シンポジウム）	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.106~117.
座小田 豊	シンポジウム総括（シンポジウム）	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.100-105.
佐良木 昌	ヘーゲル美学と言語表現の論理：言語表現における美の諸問題（思考と言語）	電子情報通信学会技術研究報告：信学技報	115(44 1)	2016 pp.1-6.
佐藤 貴史	書評 世界史の内部と外部『ヘーゲルと国家』(村岡晋一・橋本由美子[訳]、作品社、2015年)を読む	政治哲学(レオ・シュトラウス政治哲学研究会編)	20	2016 pp.124~133.
佐藤 康邦	生哲学としてのヘーゲル哲学（日本ヘーゲル学会十周年記念講演）	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.39-50.
柴田 隆行	ヘーゲルの美術館訪問と美術館構想	東洋大学社会学部紀要(東洋大学社会学部編)	54(19)	2016 pp.5-20.
清水 満	国家とは何か?：フィヒテとヘーゲル思想の政治哲学的考察	社会システム研究(北九州市立大学大学院社会システム研究科編)	14	2016 pp.57-77.
下城 一	ヘーゲルの『法哲学』：その成立の背景(9)：『懐疑主義論文』（後篇）	横浜国立大学教育人間科学部紀要. III, 社会科学(横浜国立大学教育人間科学部編)	18	2016 pp.10~30.
杉田孝夫	シンポジウム総括（シンポジウム）	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.142-145.

高田 純	ヘーゲル承認論のアクチュアリティ	文化と言語（札幌大学外国語学部紀要）	84	2016 pp.179-201.
高橋 一行	カント戦争論VS.ヘーゲル平和論（シンポジウム ヘーゲルにおける戦争と平和）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編集委員会編）	22	2016 pp.118-128.
高藤 大樹	ヘーゲルの芸術哲学と「近代」：「理念」と「感性的顕現」との関係を巡って	博士論文（同志社大学）		2016
高山 守	ヘーゲル哲学における自由論の展開（日本ヘーゲル学会十周年記念講演）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編集委員会編）	22	2016 pp.51-62.
滝口 清栄	ヘーゲル法哲学：〈読み〉の水準の総括と可能性（特集ヘーゲル大論理学：概念論刊行200年）	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.117-129.
竹村 喜一郎	ヘーゲル絶対的相関論の現代的位相	研究紀要（つくば国際大学研究紀要委員会編）	22	2016 pp.103-124.
徳永 哲也	書評 石井基博『ヘーゲル法哲学が目指したもの：〈体系としての人倫〉・自由・国家』	倫理学研究（関西倫理学会編）	46	2016 pp.217~220.
中野 眞	ヘーゲルの「本質論」における否定の自己関係（その1）	ヘーゲル論理学研究（ヘーゲル論理学研究会編）	22	2016 pp.51-71.
中畑 邦夫	「主観性あるいは自由の国の「手前」で：ヘーゲル論理学における人間の「論理的本性」（特集ヘーゲル大論理学：概念論刊行200年）	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.197-215.
西村 清貴	G・W・F・ヘーゲルのサヴィニー批判：実定法概念をめぐって	法學志林 114(1・2)	114(1,2)	2016 pp.53~80.
浜野 喬士	フィヒテの信頼論：ヘーゲルによる批判、自然法、国家（特集ヘーゲル大論理学：概念論刊行200年）	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.216-231.
東口 豊	藝術思想における黙示録的性格：ハイデッガーにおけるヘーゲルの所謂「藝術終焉論」批判をめぐって	学年報（九州大学大学院人文科学研究院編）	75	2016 pp.1-19.
樋口 善郎	ヘーゲルと貧困問題	アルケー：関西哲学会年報（関西哲学会編）	24	2016 pp.43-55.
平野 克弥	ヘーゲルの亡霊と民衆史のアポリア：安丸歴史学の認識論的前提の問題をめぐって	現代思想（青土社）	44	2016 pp.262-275.

藤高 和輝	ヘーゲル的主体のメランコリー：『欲望の主体』におけるバトラーのヘーゲル解釈とその展開	年報人間科学 (大阪大学大学院人間科学研究科 社会学・人間学・人類学研究室編)	37	2016 pp.71~86.
牧野 広義	ヘーゲル論理学とマルクス：「主体」と「自由」を中心に (特集 唯物論の新しい研究)	唯物論と現代 (関西唯物論研究会編)	56	2016 pp.20-36.
牧野 広義	ヘーゲルとマルクス — 社会学と論理学 —	阪南論集. 社会学編	51(3)	2016 pp.297-310.
松下 晴彦	ジョン・デューイの哲学的な方法とヘーゲルの痕跡	名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要. 教育学	63(1)	2016 pp.1-11.
松村 健吾	フランクフルト期のヘーゲルの宗教論	大東文化大学紀要. 人文科学	54	2016 pp.29-50.
三重野 清顕	対立者の統一：ヘーゲル『大論理学』における「対立」の理論とその思想史的背景 (特集 ヘーゲル大論理学：概念論刊行200年)	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.232-253.
嶺岸 佑亮	自己であることの根源への問い：ヘーゲルのベルリン期の宗教哲学講義における精神の証しと自己知をもとに	文化 (東北大学文学部編)	79(3,4)	2016 pp.296-276.
山内 廣隆	西晋一郎における君主と恩赦：ヘーゲルと比較して (統一テーマ 平和と和解)	ぶらくしす (広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター, 西日本応用倫理学研究会編)	18	2016 pp.49-59.
山口 誠一	ヘーゲル『精神現象学』「序説」第27節~第29節の解明	法政大学文学部紀要 (法政大学文学部編)	74	2016 pp.21-33.
山口 誠一	ヘーゲル『精神現象学』「序説」：第 23 節~第 24 節の解明	法政大学文学部紀要 (法政大学文学部編)	72	2016 pp.1~10.
山口 誠一	ヘーゲル『精神現象学』「序説」：第 25 節~第 26 節の解明	法政大学文学部紀要 (法政大学文学部編)	73	2016 pp.13~25.
山口 祐弘	ヘーゲルにおける無差別論の転回：ドイツ観念論の岐路	思想 (岩波書店)	1102	2016 pp.41-58.
山口 祐弘	ヘーゲルにおける論理学の再生：形而上学の復権のために	情況. 第四期：変革のための総合誌	3	2016 pp.78-96.
山崎 純	宗教と国家との和解：宗教の私事化から再公共化へ (シンポジウム ヘーゲル哲学における宗教哲学の本質と現代の人間)	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.86-99.

山田 有希子	ヘーゲル論理学の存在論と しての可能性について：『大 論理学』における「矛盾」概 念の考察から	宇都宮大学教育 学部研究紀要. 第1部	66	2016 pp.89-106.
山脇 雅夫	判断と推理：ヘーゲルの媒 辞の存在論 (特集 ヘーゲル 大論理学：概念論刊行 200年)	情況. 第四期： 変革のための総 合誌	3	2016 pp.161- 177.
寄川 条路	ヘーゲル論理学の生成と発 展：『大論理学』『小論理 学』『論理学講義』をつなぐ もの (特集 ヘーゲル大論理 学：概念論刊行200年)	情況. 第四期： 変革のための総 合誌	3	2016 pp.130- 144.
〈2017年〉				
飯泉 佑介	普遍的世界の対象化： ヘーゲル『精神現象学』 自己意識章の社会形成 論的意義	大阪経済法科 大学21世紀研 究(大阪経済法 科大学21世紀 社会総合研究 センター編)、	8、	2017、pp.65~83.
飯泉 佑介	意識の経験の必然性と完 璧性：ヘーゲル『精神現 象学』の統体的構造につ いて	ヘーゲル哲学 研究(日本ヘー ゲル学会編)、	23、	2017、 pp.89~112.
池松 辰男	回帰する自然/自然の残 滓：ヘーゲル「客観的精 神の哲学」における自然 の地位・試論	倫理学紀要(東 京大学大学院 人文社会系研 究科編)、	25、	2017、 pp.184~20 7.
石川 伊織	ヘーゲルの絵画論：ヘー ゲル美学講義に結実した 芸術体験をめぐる(特 集 ヘーゲルは何を見て、 何を考えたか?) -- (シン ポジウム ヘーゲルの絵画 論 ヘーゲルは何を見て、 何を考えたか?)	ヘーゲル哲学 研究(日本ヘー ゲル学会編)、	23、	2017、pp.51~61.
井上 厚史	西周とヘーゲル：「性法」 と「利」をめぐる考察	北東アジア研究 (島根県立大学 北東アジア地域 研究センター 編)、	28、	2017、pp.13~31.
今村 健一郎	ヘーゲルの刑罰論	愛知教育大学 研究報告. 人 文・社会科学編 (愛知教育大学 編)	66、	2017、pp.49~61.

衛藤 吉則	シュタイナー教育思想の 哲学的基盤(4)：「精神」 と「自由」の獲得に向けた ヘーゲルの認識論(後 半)	HABITUS(西日 21、 本応用倫理学 研究会編)、	2017、pp.17~26.
大河内 泰樹	シンポジウム総括(特集 ヘーゲルは何を見て、何 を考えたか?) -- (シンポ ジウム 概念とは何か? ヘーゲル『大論理学』「概 念論」二〇〇年)	ヘーゲル哲学 23、 研究(日本ヘー ゲル学会編)、	2017、pp.47~50.
小原 耕一	レーニン「ヘーゲル・ノー ト」とロシア革命百年によ せて(特集 ロシア革命か ら100年：我々は何を学 んだのか) -- (レーニンを 論じた)	季報唯物論研 141、 究(季報「唯物 論研究」刊行会 編)、	2017、pp.56~60.
加藤 尚武	「弁証法」の22用語例in 『法哲学』	ヘーゲル論理 23、 学研究(ヘーゲ ル論理学研究 会編)、	2017、pp.7~20.
上田 尚徳	ヘーゲル『精神現象学』「 感覚的確信」における指 摘Aufzeigenの問題	一橋社会科学 9、 (一橋大学大学 院社会学研究 科編)、	2017、pp.45~58.
上田 尚徳	物を認識することはいか にして可能か：ヘーゲル 『精神現象学』「知覚」に 関する一考察	唯物論研究年 22、 誌(大月書店)、	2017、 pp.221~24 2.
川崎 誠	ウイトゲンシュタインは、 ヘーゲルを読んだマルク スを読んだ!：「論理的構 文論」の立場から	専修人文論集 100、 (専修大学学会 編)、	2017、 pp.294~34 1.
川瀬 和也	ヘーゲル『大論理学』にお ける絶対的理念と哲学の 方法	哲学(日本哲学 68、 会編)、	2017、 pp.109~12 3.
川瀬 和也	ヘーゲルの「推論」論と経 験(特集 ヘーゲルは何を 見て、何を考えたか?) -- (シンポジウム 概念とは何 か? ヘーゲル『大論理学』 「概念論」二〇〇年)	ヘーゲル哲学 23、 研究(日本ヘー ゲル学会編)、	2017、pp.34~46.

- 久保 陽一 認識における実体の開示 ヘーゲル哲学 23、 2017、pp.9~20.
:ヘーゲルの「概念の発
生的解明」について(特
集 ヘーゲルは何を見て、
何を考えたか?) -- (シン
ポジウム 概念とは何か?
ヘーゲル『大論理学』「概
念論」二〇〇年)
- 熊谷 征一郎 「無からの創造」と「潜在 西田哲学会年 14、 2017、pp.85~99.
からの顕現」との両否定: 報'西田哲学会
西田とヘーゲル 事務局編)、
- 栗原 隆 特別講演 ヘーゲルにお 東北哲学会年 33、 2017、pp.63~84.
ける哲学的人間学の射程 報(東北哲学会
と感応の行方 編)、
- 黒崎 剛 現代社会を理解するため ヘーゲル論理 23、 2017、
の『大論理学』注釈(4)第 学研究(ヘーゲ pp.83~140.
一部・『第一書 存在』(そ ル論理学研究
の2)「定在」(初版)への 会編)、
注釈
- 座小田 豊 「哲学によって、哲学を通 ヘーゲル哲学 23、 2017、pp.4~8.
して生きることを学ぶ」と 研究(日本ヘー
はどのようなことなのか ゲル学会編)、
- 佐藤 康邦 シンポジウム総括(特集 ヘーゲル哲学 23、 2017、pp.84~88.
ヘーゲルは何を見て、何 研究(日本ヘー
を考えたか?) -- (シンポ ゲル学会編)、
ジウム ヘーゲルの絵画論
ヘーゲルは何を見て、何
を考えたか?)
- 真田 美沙 ヘーゲル論理学存在論に 哲学(日本哲 68、 2017、
おける三つの無限性: 学会編) pp.139~15
イェーナ論理学「一重の 3.
関係」から『大論理学』「存
在論」へ
- 柴田 隆行 ヘーゲルはどの絵を見て ヘーゲル哲学 23、 2017、pp.62~72.
絵画論を展開したか(特 研究(日本ヘー
集 ヘーゲルは何を見て、 ゲル学会編)、
何を考えたか?) -- (シン
ポジウム ヘーゲルの絵画
論 ヘーゲルは何を見て、
何を考えたか?)
- 嶋田 律之 ヘーゲルの『精神の現象 桜美林論考. 人 8、 2017、pp.69~84.
学』(1807)における聖餐 文研究(桜美
論 林大学編)、

下城 一	ヘーゲルの『法哲学』-その成立の背景(10): 外編: 「ライプニッツ、カントの力の概念」-	横浜国立大学 教育人間科学部紀要. III, 社会科学 (横浜国立大学教育人間科学部編)、	19、	2017、pp.26~52.
下田 和宣	宗教史の哲学: ベルリン期ヘーゲル宗教哲学におけるその展開と意義	宗教哲学研究 (宗教哲学会編)、	38、	2017、pp.58~71.
新宮 一成	ラカンの崇高、フロイトの不気味(17)崇高が荘厳(しょうごん)する歴史、神、無限: ヘーゲル	究: ミネルヴァ通信(ミネルヴァ書房)、	80、	2017、pp.28~31.
高藤 大樹	「世界文学」理念か「像(イメージ)の連鎖」か: ヘーゲルの『西東詩集』受容についての一考察	美学芸術学 (美学芸術学会編)、	33、	2017、pp.31~55.
竹島 尚仁	ヘーゲル『論理学』本質論における「交互作用」の射程(下)	岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 (岡山大学大学院社会文化科学研究科編)、	43、	2017、 pp.163~177.
徳増 多加志	不都合でない自我の循環構造と認識の問題: ヘーゲル『論理学』に於ける概念的認識と自己意識 (特集 ヘーゲルは何を見て、何を考えたか?) -- (シンポジウム 概念とは何か? ヘーゲル『大論理学』「概念論」二〇〇年)	ヘーゲル哲学研究 (日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、pp.21~33.
鳥越 覚生	ショーペンハウアーの美の形而上学における媒体論 --ヘーゲルの反映論と対照して	宗教学研究紀要 (京都大学文学研究科宗教学専修編)、	14、	2017、pp.58~77.
中川 玲子	「精神現象学」におけるヘーゲルの芸術哲学(前)	哲学論究 (同志社大学哲学会編)、	31、	2017、pp.25~39.
長島 隆	環境との媒介における生命 --ヘーゲル自然哲学に即して	国際哲学研究 (東洋大学国際哲学研究センター編)、	9、	2017、pp.79~98.

中野 眞	ヘーゲルの「本質論」における否定の自己関係(その2)	ヘーゲル論理学研究(ヘーゲル論理学研究会編)、	23、	2017、pp.65~81.
花井 信	教育目標としての思考力・判断力・表現力：ヘーゲルとデューイとを対照させながら	常葉大学教育学部紀要(編)、	38、	2017、pp.93~109.
樋口 聡	体育・スポーツをかく語りき：哲学と歴史からの未来の思想への提言(3)ヘーゲル『美学講義』にもとづくスポーツと芸術の結合と離反	体育の科学(杏林書院)、	67(3)	2017、pp.201~205.
藤井 政則	読書ノート『ヘーゲル哲学を語る』(文理閣、二〇一六年)に触発されて	牧野広義編著 唯物論と現代(文理閣)、	58、	2017、pp.116~123.
福田 静夫	「神の国」の理念とベルン期のヘーゲル(上)	現代と文化：日本福祉大学研究紀要(日本福祉大学福祉社会開発研究所編)、	136、	2017、pp.57~74.
福田 学	ヘーゲル『大論理学』から迫る「歴史としての生命」の基準=ゼロ：生物学における時空間次元の問題	新潟大学教育学部研究紀要(新潟大学教育学部編)、	10(1)	2017、pp.77~105.
星野 勉	ヘーゲルの「自己意識」論	法政大学文学部紀要 = Bulletin of Faculty of Letters, Hosei University (76), 1-12 (2017) (法政大学文学部編)、	76、	2017、pp.1~12.
堀永 哲史	質的なものから観念的なものへ：ヘーゲル『大論理学』質論における無限論の注釈	ヘーゲル論理学研究(ヘーゲル論理学研究会編)、	23、	2017、pp.21~37.

真下 仁	〈われ〉と〈われわれ〉,終 わりなき〈自己創生〉の現 象学:ヘーゲル〈と共に/ を通して〉考える	東海大学短期 大学紀要(東 海大学短期大 学紀要委員会 編)、	51、	2017、pp.19~28.
松下 晴彦	初期デューイ論理思想と ヘーゲル	日本デューイ学 会紀要(日本 デューイ学会 編)、	58、	2017、pp.57~66.
松村 健吾	フィヒテとシェリングと ヘーゲルの哲学の無差 別:シェリング『超越論的 観念論の体系』を中心に	大東文化大学 紀要.人文科学 (大東文化大学 編)、	55、	2017、pp.13~30.
三重野 清顕	トマスとヘーゲル:有限 者と無限者の関係をめぐ る試論(特集 開かれたス コラ哲学)	ニュクス(堀之 内出版)、	4、	2017、 pp.126~14 3.
嶺岸 佑亮	自己意識と無限な本質 —ヘーゲルの宗教哲学に おける崇高の宗教につい て—	文化(東北大学 文学会編)、	81(1)	2017、pp.35~54 (= pp.128~10 9).
村井 忠康	生と論理:分析的ヘーゲ ル主義としてのトンプソン の生命論(総特集 分析 哲学)	現代思想(青土 社)、	45(2 1)、	2017、 pp.207~22 1.
村田 宏	ヘーゲルのルーヴル美術 館体験を考えるために (特集 ヘーゲルは何を見 て、何を考えたか?) -- (シンポジウム ヘーゲル の絵画論 ヘーゲルは何 を見て、何を考えたか?)	ヘーゲル哲学 研究(日本ヘー ゲル学会編)、	23、	2017、pp.73~83.
山内 廣隆	二つの君主論:西晋一郎 とヘーゲル	政治哲学(レ オ・シュトラウス 政治哲学研究 会編)、	22、	2017、pp.1~32.
山口 誠一	ヘーゲル『精神現象学』 「序説」第30節~第32節 の解明	法政大学文学 部紀要(法政大 学文学部編)、	75、	2017、pp.1~12.
山口 誠一	ヘーゲル『精神現象学』 「序説」第33節~第35節 の解明	法政大学文学 部紀要(法政 大学文学部 編)、	76、	2017、pp.49~59.

山脇 雅夫	ヘーゲルにおける現実と 主体	近世哲学研究 (近世哲学会 編)、	20、	2017、pp.41~54.
渡邊 憲正	市民社会概念の両義性 について	経済系：関東 学院大学経済 学会研究論集 (関東学院大学 経済研究所 編)、	270、	2017、 pp.160~18 0.

C 翻訳

〈2016年〉

ピアギート ザントカウ レン	講演 個人という問題：スピ ノザの実体概念に対する ヘーゲルの両義的な対決 (飯泉 佑介訳)	ヘーゲル哲学研 究(日本ヘーゲル 学会編集委員会 編)	22	2016 pp.10~25.
W.イエシュケ	ヘーゲルハンドブック：生 涯・作品・学派(神山伸弘, 久保陽一, 座小田豊, 島崎 隆, 高山守, 山口誠一 監 訳)	知泉書館		
レーヴィット	ヘーゲルからニーチェへ： 十九世紀思想における革命 的断絶 下(三島憲一 訳)	岩波書店		
ルドルフ ハイム	古典研究文献翻訳 ルドル フ・ハイム ヘーゲルとその 時代(第15講)プロイセンと 法哲学(金澤 秀嗣, 柴田 隆 行訳)	ヘーゲル論理学 研究(ヘーゲル論 理学研究会編)	22	2016 pp.23~48.
ジル カンパニョロ	人間の物質的生活を考える ：若きヘーゲルと近代の生 産者たち(高橋 克也訳)	埼玉大学紀要. 教養学部(埼玉 大学教養学部 編)	52	1 pp.131~138.

〈2017年〉

ミヒャエル・クヴァン テ	精神の現実性：ヘーゲル 研究(後藤弘志, 桐原隆 弘, 裕智樹訳)	リベル タス出 版		
ミヒャエル・クヴァン テ	尊厳と多元主義：今日に おけるヘーゲル哲学のア クチュアリティとその限界 (「尊厳」概念のアクチュア リティ)(瀬川真吾訳)	思想(岩波書 店)、	1114	2017、 pp.165~18 2.
ラナジット・グハ	世界史の脱構築：ヘーゲ ルの歴史哲学批判からタ ゴールの詩の思想へ(竹 中千春訳)	立教大学出版 会		

ヴァルター・ノイマン	無意識のヘーゲル：鏡映理論としての『大論理学』（内田弘訳）		こぶし書房		
ヘルマン・シュミッツ ヘルマン（鈴木恒範訳）	古典研究文献翻訳ヘーゲル弁証法の諸原理としての無限判断と推論（その1）『個性性の思想家としてのヘーゲル』より（鈴木恒範訳）	ヘーゲル論理学研究（ヘーゲル論理学研究会編）、		23、	2017、pp.39~63.
カーステン・ヘルマン＝ピラート、イヴァン・ボルディレフ	現代経済学のヘーゲル的転回：社会科学の制度論的基礎（岡本裕一朗、瀧澤弘和訳）	NTT出版			
スーザン・バック＝モース	ヘーゲルとハイチ：普遍史の可能性にむけて（岩崎稔訳）	法政大学出版局			
ロッタ ロラン	翻訳 倫理的制度主義と統合への人倫的義務：統合論におけるヘーゲルの影（永井健晴 訳）	大東法学（大東文化大学法政学会編）、		27(1)	2017、pp.57~98.

III ヘーゲルに関する研究文献の書評

〈2016年〉

山脇 雅夫	評論二（合評会 海老澤善一著『ヘーゲル『大論理学』』『ヘーゲル論理学研究序説』）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編集委員会編）		22	2016 pp.209-213.
佐野 之人	評論三（合評会 海老澤善一著『ヘーゲル『大論理学』』『ヘーゲル論理学研究序説』）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編集委員会編）		22	2016 pp.214-217.
中畑 邦夫	評論一（合評会 海老澤善一著『ヘーゲル『大論理学』』『ヘーゲル論理学研究序説』）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編集委員会編）		22	2016 pp.205-209.

〈2017年〉

大河内 泰樹	書評 牧野広義著『ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由』	唯物論と現代（文理閣）、		57、	2017、pp.105~108.
大藪 敏宏	評論三（合評会 神山伸弘著『ヘーゲル国家学』）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編）、		23、	2017、pp.123~127.
黒崎 剛	評論一（合評会 牧野広義著『ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由』）	ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編）、		23、	2017、pp.128~131.

島崎 隆	書評 牧野広義著『ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由』	経済科学通信: 144、 働きつつ学ぶ権利を担う経済科学の総合雑誌 (基礎経済科学研究所『経済科学通信』編集局編)、	2017、	pp.76~78.
中川 明才	評論二 (合評会 田端信廣著『ラインホルト哲学研究序説』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.107~110.
長倉 誠一	評論一 (合評会 田端信廣著『ラインホルト哲学研究序説』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.103~106.
濱 良祐	評論二 (合評会 神山伸弘著『ヘーゲル国家学』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.119~122.
早瀬 明	評論一 (合評会 神山伸弘著『ヘーゲル国家学』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.115~119.
福吉 勝男	書評 牧野広義編著『ヘーゲル哲学を語る』	ヘーゲル哲学季論21(『季論21』編集委員会編)、	36、	2017、 pp.227~231.
松岡 健一郎	評論二 (合評会 牧野広義著『ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.131~134.
三重野 清顕	評論三 (合評会 田端信廣著『ラインホルト哲学研究序説』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.110~114.
山脇 雅夫	評論三 (合評会 牧野広義著『ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由』)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編)、	23、	2017、 pp.135~138.
著者不明	書評 高柳良治『ヘーゲルの社会経済思想』	経済学史研究 (経済学史学会編)、	58(2)	2017、pp.76~79.

IV ヘーゲル研究の

動向紹介

(2016年)

久保 陽一,大河内 泰樹	国際会議報告 東アジア・ヘーゲルネットワークの第一回会議(二〇一三年)と第二回会議(二〇一五年)	ヘーゲル哲学研究(日本ヘーゲル学会編集委員会編)	22	2016 pp.218-220.
--------------	--	--------------------------	----	------------------

V ヘーゲルに関する文献目録

〈2016年〉

松岡健一郎・早瀬 明 ヘーゲル日本語文献目録（2014年～2015年） ヘーゲル哲学研究（日本ヘーゲル学会編）、 22、 2016、 pp.232~221.

VI ヘーゲルに関する研究資料